

事務事業名	『南信州牛』ブランド推進事業		会計	一般会計	実施区分	継続			
			事業種別	政策	開始	19 終了			
H29作成課等名	農業課	H29係等名	生産振興係	H28担当課等名	農業課				
基本計画上の位置づけ	政策	1	多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり						
	施策	12	未来を見据えた地域産業の魅力、強み、人材の強化						
目的	対象(誰・何を)	南信州牛			指標名及び単位	28年度数値			
	意図(どういう状態にするか)	①市民への認知度を高める ②ブランド化する			対象指標	飼養頭数 1938			
	向上させたい上位施策の成果指標	既存農業者の産出額(農業):億円			飼養戸数	54			
目標	種別	指標名及び単位			27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度実績	備考(指標変更など)
	成果指標	参画店舗数:店	36	34	40	34			
	成果指標	認知度:%		78	85	85			
定性目標									
事業概要	<p>南信州地域の肉牛は、長野県の中でもモデルになるほどの高い飼育技術で知られている。また関西・京都市場では継続して評価が高い。しかし、南信州地域で生産される肉牛の大半は京都・大阪で流通しているが、地域内では、産地としての認識も低く、消費量も少ない状況にある。</p> <p>このため、優良な南信州牛を一つのきっかけとして、料飲関係者、生産者団体、食肉加工業者等が一体となり南信州牛ブランド推進協議会を設立し、市民への産地としての認知を高め、生産者と消費者並びに料飲関係者を結び地域での消費拡大を図るとともに、信頼できる産地としての地域ブランド化を進める。</p>								
28年度事業内容	事業内容				名称		活動指標		
	1 域内消費拡大事業:南信州牛フェアの開催				1 フェア開催数		1 2回		
	2 ブランド推進協議会、戦略会議(総会)				2 推進協議会開催数		2 3回		
	3 南信州牛ホームページの更新作業				3 閲覧、更新作業		3 随時		
	4 南信州牛肉をテーマとしたイベントの企画				4 南信州牛宣伝京都交流会		4 1回		
事業コスト		27年度決算額	28年度予算額	28年度決算額	29年度繰越額	特定財源内訳、補足			
事業費計(千円)①		932	932	932	0				
国庫支出金									
県支出金									
起債									
その他									
一般財源		932	932	932					
人件費計(千円)②		1,144	1,144	1,144	0				
正規職員所要時間		320	320	320					
臨時職員所要時間									
総事業費①+②		2,076	2,076	2,076	0				
事業内容・目標達成状況の振り返り	協議会と参加店が連携した取組として、夏に「南信州牛フェア」を実施した。フェア期間に実施した「南信州牛プレゼント企画」では403名の応募があり、認知度向上に成果があった。また、冬には「南信州牛と旬野菜の料理教室」を実施し、24名の参加があり、消費機運の盛り上げにつながった。								
改革改善の考え方	①問題点	地域内においては、認知度向上と消費機運の盛り上げに一定の成果が見られるが、観光で当地域に来られた方に優先的に南信州牛を選択して食べてもらうための発信ツールを充実させる必要がある。							
	②改革提案	観光客が多い時期と牛肉の需要期に合わせて、協議会と参加店舗が連携したイベントを実施し、観光誘客による消費拡大を図る。市場評価の高い京都でのイベントを通じ、品質の良い肉牛産地であることを地元へ還元し、地域住民の認知度を更に高めていく。また、現在南信州牛を提供しているお店に協議会への参加を働きかけ、参加店舗数の拡大							